

令和5年度職員採用選考試験
看護 専門記述試験 (5.6.18)

= 課題 =

○ 2型糖尿病患者の看護について

事例を読み、次の質問について、それぞれ記述しなさい。

事例 Aさん 65歳 男性

- ・ 診断名：2型糖尿病による糖尿病性壊疽（右第4・5足趾）
- ・ 背景：40代から2型糖尿病を患い、内服薬でコントロール中であった。来院時、右第4・5足趾の糖尿病壊疽を認め入院となり、その後、第4・5足趾の切断術を受けた。現在の安静度は、免荷で車椅子移乗可能となった。離婚歴あり、現在1人暮らし。両親はすでに他界し、弟がいるものの連絡は取っていない。仕事は日雇いの土木作業員。会社の寮で暮らし生計を立てている。性格は短気。HbA1cは8%台で経過。

(1) 2型糖尿病による糖尿病壊疽のメカニズムを説明しなさい。

(2) Aさんに必要な看護について説明しなさい。

(3) 次の場面は、昼食時に学生がAさんの部屋に訪室した場面である。

場面を読んで、あなたが実習指導者の場合、教育的な関わりとしての具体的な関わりとその意図について述べなさい。

学生が、「ごはん、食べられましたか？」と声をかけたところ、Aさんが慌てて布団の中にビニール袋を隠されるところを見た。その袋の中にクリームパンが入っていたのが見えたので、「ダメじゃないですか！クリームパンなんか食べて！そんなことをしていると、他の足も悪くなって歩けなくなりますよ!」と言ったところ、Aさんは「おまえなんか、もう来るな!」と腹を立て布団をかぶり横になった。

学生は、そのまま部屋を退室し「午前中に食事療法の重要性について説明していたのにショックです。」「Aさんを怒らせたし、どう関わったらいいかわかりません。」と実習指導者に訴えてきました。